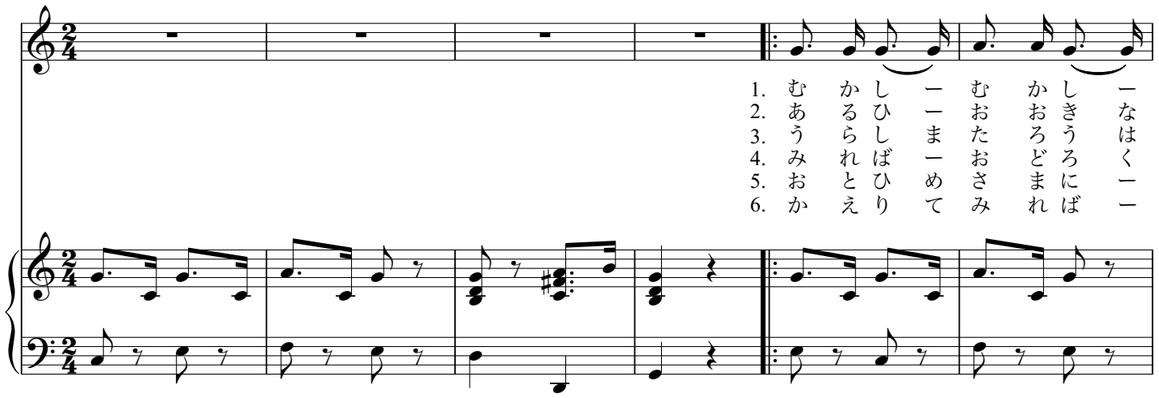
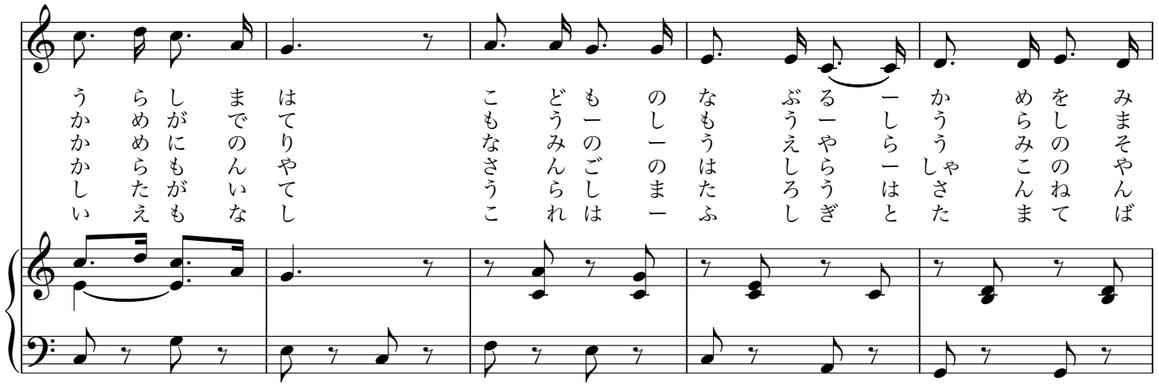
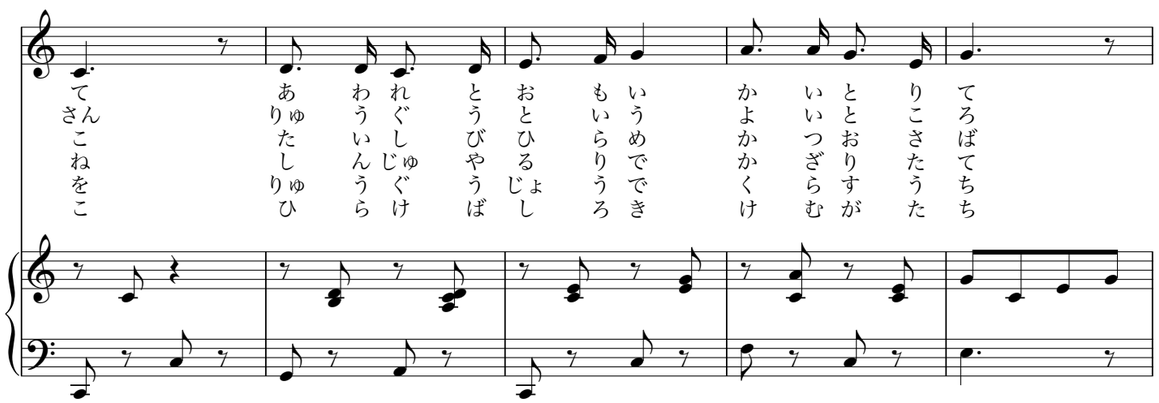
浦島太郎

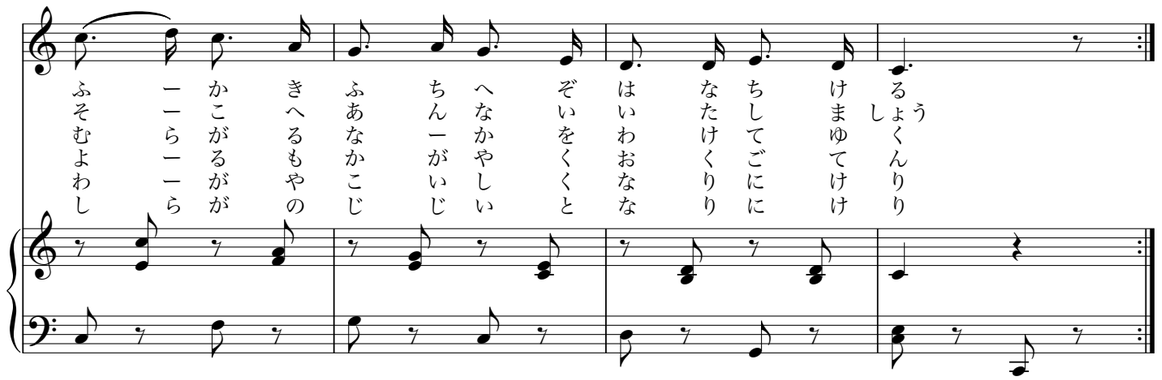
石原和三郎　作詞
田村　虎蔵　作曲

活発に（♩= 112）









浦島太郎

石原和三郎　作詞

一、昔々　浦島は、
子供のなぶる　亀を見て、
あわれと思い　買いとりて、
深き淵へぞ　放ちける。

二、ある日大きな　亀が出て、
もうしもうし　浦島さん、
龍宮という　良い所、
そこへ案内　いたしましょう。

三、浦島太郎は　亀に乗り、
波の上やら　海の底、
鯛・鮪（しび）・平目、鰹・鯖、
群がるなかを　分けてゆく。

四、見れば驚く　唐門や、
珊瑚の柱　硨磲（しゃこ）の屋根、
真珠や瑠璃で　飾りたて、
夜も輝く　奥御殿。

五、乙姫様に　従いて、
浦島太郎は　三年を、
龍宮城で　暮すうち、
わが家恋しく　なりにけり。

六、帰りて見れば　家もなし、
これは不思議と　玉手箱、
開けば白き　煙（けむ）が立ち、
白髪の爺と　なりにけり。